



所在地：上畑202番地（南高麗福祉センター内）

電話：070-7792-2431

FAX：050-3156-2236

メール：station-minamikoma@hannosyakyo.or.jp

火曜日～金曜日 午前9時15分～午後4時15分

地域の活動紹介

～サロン時計台～

“サロン時計台”は、地域の方どなたでも気軽に集えるひろばです。笑顔がいっぱいのあたたかい交流の場となっています。軽い体操を行い、ふれあいを大切にしています。お気軽にご参加ください。

*日時：原則、毎月第4金曜日 午前10時～11時30分

*参加費 1人 100円



サロン時計台

**参加者
募集中!!**

“南高麗ふれ愛ひろば”は、「子どもと保護者」どなたでも気軽に集えるひろばです。カレンダーを作ったり、楽しい遊びをしたり、笑顔がいっぱいのあたたかい交流の場となっています。

ふれあいを大切に、季節の歌や伝承遊びなども楽しめます。お気軽にご参加ください。

*日時：原則、毎月第3金曜日 午前10時～11時30分 予約不要 *参加費 1家族 100円

子育て交流 ～南高麗ふれ愛ひろば～



子育てひろば

**KOKKO
ほんのう**

“KOKKO（こっこ）”とは、フィンランド語で“かがり火”。毎日の子育てを明るく灯すような、“かがり火”になれるように。ママ達のつながりを大切に、温かく子育てができるように取り組んでいます。

*日時：原則、毎月第4木曜日

午前9時30分～11時30分

予約不要 保護者同伴で

*利用料金：大人1人100円・子ども1人50円

*対象：0歳から小学生までの子どもと保護者

いずれも会場は、南高麗福祉センター。駐車場もあります。予告なく中止する場合があります。



南高麗ふれ愛ひろば

災害義援金受付中

埼玉県共同募金会飯能市支会では、被災地への義援金を受け付けています。お預かりした義援金は大規模災害の支援のために使われます。

受付場所：飯能市総合福祉センター
1階窓口（募金箱も設置しています。）

詳しくは
こちら



あたたかいご協力をお待ちしております。

地域ふくし発見!

地域福祉に関する素敵な取組みをふくしの森ステーションのCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が取材・発信していきます。

にちにちのはらの“自然感覚体験保育園”はどのような取組みですか?

スタッフさん「乳幼児期の子どもたちは、全身が感覚器官だと言われています。土・水・火・風・空を感じながら、小さな生き物や植物たち、四季折々の自然と近しく触れ合い、自分の体で外界と出会っていくことは子どもにとって喜びです。日々変化する自然の多様性の中に身を置き、内側から好奇心や意欲がわき出て集中して遊びこんだり、友だちとのびのび交わるような体になっていくことを見守ります。大人の社会の雑多な出来事から愛情の覆いで守られ、早起き早寝ですくすく元気に!どの子ども自分らしくそのまんまを喜ばれながら日々を遊びきる、にちにちのはらの子どもの世界を、お父ちゃんお母ちゃんたちと学び、悩み、笑い合いながら支えていきたいと思っています。」

にちにちのはらの“フリースクール”とは?

スタッフさん「山を歩いたり、川で泳いだり、釣りしたり…。春の野草を摘んで天ぷらにして食べたり、秋の栗を拾って、火をおこしてゆでて小さい子たちと分け合ったり…。自然の移り変わりを肌で感じながら、その恵みの中で、遊び、学び、暮らす。体を動かして元気な自分を感じたら、目の前の『越えられそうもない壁』が案外なんとかなりそうと思えてきたり、いつのまにか気にならなくなったり、自分のペースをつかめてきたりする中で、自分でいいんだと感じられるように、その子らしくいられることを応援しています。」

独占インタビュー

「にちにちのはら」

聞き手:CSW小林(愛)

今回ご紹介するのは自然や人とのふれあい、体験が育てるしなやかな体と愛情に包まれた暮らしをモットーとする認可外保育園・フリースクール・プレーパークの「にちにちのはら」さんです。広い野原の園庭の中で、スタッフの方にお話をお聞きしました。



「にちにちのはら」の情報

【施設名】にちにちのはら
 【住所】〒357-0066 飯能市小岩井603
 【プレーパーク】毎月第3日曜日10時~15時
 まずはプレーパークに遊びに来てください
 【認可外保育園】月~金 8時半~16時
 【フリースクール】月~金 8時半~16時
 詳しくはHPをご覧ください

<https://nichinichinohara.com>

【問い合わせ】☎090-1434-1453

(代表: 姫野千鶴子)

✉2121nohara@gmail.com

※メールのお返事は数日かかる場合もあります

【取材を終えて】人生の先輩であるスタッフさん達に守られて、子ども親も安心できる場所だと感じました。取材にご協力いただき、ありがとうございました!

“もっと子どもの居場所を増やしたい” CSWは子どもの居場所づくりに協力します

放課後、遊びに行く場所が無い子ども。学校以外の行く場所が欲しい子ども。今、子どもの居場所は子どもに必要とされています。子どもにとって居心地のいい場所は、地域にとっても居心地のいいものかもしれません。

子どもの居場所に関する相談や情報があれば是非、お近くのふくしの森ステーションにお声掛けください。